



食のカレンダー

2025年10月
のげやまようちえん

10 October

●2日/豆腐の日

「10と2」のごろ合わせから。

●4日/イワシの日

栄養満点のイワシ。いろんな食べ方でいただきます。

●16日/世界食糧デー

世界には、食べ物がないで困っている人がたくさんいます。食糧不足について、一度考えてみましょう。

食欲の秋です

実りの秋、味覚の秋がやってきます！

秋の味覚といったら何でしょう。

ナシ、リンゴ、ブドウ、サンマ、秋ナスなど…

食に関する話を交えながら、「旬」の秋の味覚を楽しみましょう。

おいしい！



世界食糧デー 2025テーマ 「ハンド・イン・ハンド、よりよい食と未来へ」

10月16日 世界食糧デー 世界の事情を知ろう！
食べることができる恵み 幼稚園でも考えます…

すべての人と食べる幸せを分かち合える世界へ

10月は世界の食糧問題を考える世界食糧デー月間と定められています。

10月16日は世界食糧デーです。幼稚園では毎年、世界食糧デーについてみんなで考え、取り組んでいます。

「世界食糧デー」とは世界の食料問題を考える日として国連が制定した日で 世界の一人一人が協力しあい、「すべての人に食料を」を現実のものにし、世界に広がる栄養不良、飢餓、極度の貧困を解決していくことを目的としています。今、世界では何が起きているか、皆さんは知っていますか？

世界中のすべての人が十分に食べられるだけの食料は生産されていますが、それにもかかわらず、信じられないほどの人たちが飢餓に苦しんでいます。

日本でも、貧困で食べることができない人もいます。

まだ食べられるのに捨てられている一方で、食べることも十分でない人たちもいます。

私たちに何ができるのでしょうか。

食べられることに感謝して「もったいない」「食品ロス」をなくしましょう。

SDGs「Sustainable Development Goals」です。

世界では約8億人が飢餓に苦しみもその多くがアジアやアフリカの農村部に集中しています。自然災害や紛争、貧困が原因で、特に子どもたちの栄養不足や発育阻害が深刻です。食料は生産されているにもかかわらず、分配の不平等が飢餓を生んでいます。 インターネット調べ

私たちに何ができるのでしょうか。

まずおとながその現実を知り、子どもたちにその年齢なりに伝えていくこと、

そして、いただいた恵みをもったいなくないように、美味しくいただくこと から始めることが大切なのではないでしょうか…

それぞれできることを考えてみましょう…

年長すずらん組では、苗からお米を育ててみて、お米ができるまでは、とても大変なことを経験しています。

一粒一粒、大切にいただかないといけないね…という話をしています。

すべてに言えることですね。すべての食べ物を大切に感謝していただきましょう…